

## 2020年度 社会福祉法人本巢市社会福祉協議会事業報告

### [ 基本理念 ]

ふれあい、つながり、支え合う 安心とやさしさに包まれたまち もとす

#### [ 事業報告の概要 ]

少子・高齢社会の一層の進展により、地域からの孤立を防ぐため、ちょっとした困りごとを支援する「くらしつなぎあい事業」の実施や失業等により生活が困窮状態にある方に対し、自立相談支援や家計改善支援等を行い、困窮状態からの早期脱却に努めました。また、デイサービスセンターや就労支援センターの利用者に対し、その人の立場に立った支援が行えるよう工夫をこらしながら実施しました。

#### [ 重点計画取り組みの成果 ]

##### 1 ボランティアセンター事業 くらしつなぎあい事業の実施

高齢者や障がい者が地域で安心して生活できるよう、ちょっとした困りごとを支援する「くらしつなぎあい事業」の実施に向けて、活動できる体制づくりを行いました。また、広報等を通じて、サポーターの募集と事業内容の周知を行いました。

##### 2 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期脱却できるように、自立相談支援事業に加え、収入支出等家計の状況を適切に把握し、家計の改善等を支援する「家計改善支援事業」を行いました。

##### 3 子どもに対する支援事業

本巢市の子ども達に対し、どのような支援が必要なのかを関係機関と協議検討しました。

##### 4 介護保険事業及び障がい福祉事業におけるサービス体制の向上

要介護や要支援の高齢者の方々への介護サービス支援や障がい者に対する福祉サービス等について、利用者の信頼や評価が高められるようサービスの質の向上に努めました。デイサービスセンターにおいては、利用者の「できる」「できた」「頑張る」を大切に、支援を行いました。運動会、クリスマス会等様々のイベントに工夫をこらし、楽しくデイサービスをご利用いただけるよう努めました。利用者家族とは、ライン等を活用しながら、情報交換を行いました。就労支援センターについては、コロナ禍の中それぞれができることを見つけ出し、能力として伸ばしていきました。

##### 5 認知症地域支援・ケア向上事業の拡大

認知症についての普及啓発として、認知症サポーター養成講座や出前講座等で認知症ケアパスの配布を行いました。また、9月のアルツハイマー月間には、しんせいほんの森にて認知症特集として関連書籍をピックアップして展示しました。

認知症カフェについては、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、実施しました。また根尾地域の「おきがるカフェ」は地域住民や生協と協力し開催しました。

##### 6 健全な組織運営

高い公益性を有する社会福祉法人であるために組織のガバナンス強化と法令遵守の徹底を図りながら透明性の高い組織運営を行いました。また、働き方改革として、「同一労働同一賃金」の2021年度実施に向けて、臨時職員等の給与規程等改正を行い、働きやすい環境づくりを行いました。

【一般福祉事業】

事業名	1 法人運営事業
事業内容及び成果	<p>(1) 組織体制の充実</p> <p>①安定的な法人運営のために理事会・評議員会等を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会の開催（年4回）</li> <li>・評議員会の開催（年3回）</li> <li>・評議員選任・解任委員会の開催（年2回）</li> </ul> <p>②監事による事業監査及び会計監査を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査会の開催（年2回）</li> </ul> <p>②社協内部会議を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務連絡調整会議（月1回）</li> <li>・課長会議（月1回）</li> <li>・各担当会議（随時）</li> </ul> <p>(2) 財政基盤の強化</p> <p>①財源確保の為に一般会費及び賛助会費の加入促進と寄附金の募集を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般会費 9,226世帯（41世帯減）              真正3,660世帯（22世帯増） 糸貫2,919世帯（19世帯減）              本巢2,094世帯（33世帯減） 根尾 553世帯（11世帯減）</li> <li>・賛助会費 120社（47社減）              真正47社（9社減） 糸貫46社（23社減）              本巢17社（11社減） 根尾10社（4社減）</li> </ul> <p>②広報なごみにて広告掲載をし、広告掲載料の増に努めました。</p> <p>広告掲載登録 1社</p> <p>③寄附金、寄附物品</p> <p>寄附金 3名</p> <p>寄附物品 マスク、米、タオル、松茸茶、Tシャツ、防護服、食品等              50名、3社、1団体</p> <p>(3) 人材の育成</p> <p>①窓口、電話対応など接遇マニュアルを作成し、研修を行いました。</p> <p>②資格取得への支援を行います。</p> <p>(4) 働き方改革の検討</p> <p>①同一労働同一賃金に基づき、臨時職員等の給与規程等の改正を行い、働きやすい環境づくりを行いました。</p> <p>(5) 情報提供</p> <p>①広報なごみを発行（年4回）しました。</p> <p>②ホームページやフェイスブックを公開し、リアルタイムな情報提供を行いました。</p> <p>(6) 被災者援護金の支給</p> <p>①火災により被災された方への援護金（見舞金）を支給しました。</p> <p>3名支給 75,000円</p>

事業名	2 地域福祉推進事業
事業内容及び成果	<p>(1) 福祉車輛貸出事業  一般の交通機関を利用すること等外出することが困難な市民に対し、行事の参加など活動の機会を促進するため、福祉車輛の貸し出しを行いました。  軽ワゴン車 4台 普通ワゴン車 1台 年間延べ178件利用</p> <p>(2) 福祉用具貸出事業  電動ベッドや車椅子等の福祉用具の貸し出しを行いました。  貸出用具・・・電動ベッド33件・車椅子51件（自走式、介助式）  歩行器3件</p> <p>(3) 高齢者見守り活動事業  75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、日用品等を持って民生委員やボランティアが見守り訪問を行いました。  年4回 延べ1,536名を訪問（真正443名、糸貫432名、本巢368名  根尾293名）</p> <p>(4) 男性の料理教室  新型コロナウイルス感染拡大防止のため、料理教室を中止し、YouTubeで動画配信を行いました。動画配信サービスを利用することで、活動内容を多くの方に周知しました。 年2回配信 再生回数 173回</p> <p>(5) 介護者への情報提供  認知症カフェやいきいきサロンなどの交流の場を情報提供し、介護者にリフレッシュできる場を紹介しました。</p> <p>(6) 福祉協力校への助成  ①市内の幼稚園8園、小学校8校、中学校4校を福祉協力校に指定し、福祉に関する事業や授業に対し助成を行いました。  ②福祉体験教育として、就労支援センターみつばでの体験活動に協力しました。</p> <p>(7) 高額療養費貸付事業  入院又は通院による高額療養費支給制度に該当する方に対し、経済的な支援として貸付事務の手続きを行いました。  新規申請者 1名</p> <p>(8) ボランティアセンター事業  ①高齢者や障がい者を対象に、日常生活上のちょっとした困りごとを支援するくらしつなぎあい事業を2021年4月からスタートさせるため、広報活動及びボランティアへの声掛けを行いました。  ②ボランティアの養成や登録団体への支援を行いました。  ③ボランティア活動の情報提供を行いました。</p> <p>(9) ボランティアスクール  新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(10) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）  低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えることを目的に、生活福祉資金貸付の相談や申請代行を行いました。  広報なごみで制度の紹介を行うと共に、チラシ等を配布し、制度についての啓発を行いました。相談者には、どのような資金の貸付が必要かを説明し、書類の作成等行いました。</p>

	<p>また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象とした生活福祉資金貸付制度の特例措置による貸し付けを行いました。</p> <p>コロナ特例貸付 123件 通常貸付 9件</p> <p>(11) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業） 高齢や障がいなどで金銭管理や各種手続き等日常生活に不安を生じる方に対し、生活支援員が金銭管理や文書確認、届出事務の代行等を行いました。</p> <p>①利用者・・・真正3名 糸貫1名 本巢4名 ②生活支援員・・・6名 ③相談及び訪問件数・・・年間延べ123件</p> <p>(12) 子どもに対する支援事業 様々な課題を抱える子ども達に対し、支える・見守るを意識しながら、安心して暮すことができるよう子どもの集える居場所づくり等について、子どもの居場所づくり運営委員会を中心に検討を開催しました。</p> <p>検討会メンバー・・・民生委員・児童委員、主任児童委員、市役所福祉敬愛課児童福祉係、教育委員会関係者 13名出席</p> <p>(13) 生活困窮者小口資金貸付事業 ライフラインの復旧や就労支援の際の費用を一時的に貸付する支援は、実績なし。</p> <p>(14) フードドライブキャンペーン事業 各家庭に未使用となっている食材等を寄付していただき、生活困窮者等へ届けました。</p> <p>玄米 352.4 kg その他の食品 143.3 kg</p>
事業名	3 共同募金配分事業
事業内容及び成果	<p>(1) ふれあいいいききサロン事業 円滑な事業運営を支援するため助成を行いました。また、ふくし出前講座職員・ボランティアによるレクリエーションを行いながら、高齢者等の生きがいづくりを支援しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言発令中はサロンの開催を中止としました。</p> <p>サロン数・・・58サロン（真正23サロン、糸貫18サロン 本巢13サロン、根尾4サロン） 実施サロン・・・33サロン（真正9サロン、糸貫14サロン 本巢7サロン、根尾3サロン）</p> <p>年間延べ 133回開催 参加延べ人数 1,913名</p> <p>(2) 広域サロンの開催 北部地域を対象に、自治会の枠を越えて誰でも参加できるいきいきサロンを開催しました。</p> <p>①門脇、川原、樽見、市場、神所・・・2回開催 延べ13名 ②松田、小鹿・・・2回開催 延べ11名</p>

	<p>(3) 独居老人交流会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(4) 福祉運動会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(5) 買い物支援事業 高齢者等で自動車等の運転ができないなど買い物の移動に不便を感じている方に対し、買い物支援サービスを実施しました。 また、運営ボランティア・民生委員・児童委員・自治会長・運転手が集まり、情報交換を行いました。</p> <p>①高砂町自治会・・・年間延べ16回 延べ55名利用 毎月第2.4金曜日 ②神明自治会・・・年間延べ24回 延べ75名利用 毎月第1.3木曜日 ③宝珠ハイツ・・・年間延べ24回 延べ119名利用 毎月第2.4月曜日 ④仏生寺自治会・・・年間延べ5回 延べ10名利用 毎月第2火曜日 情報交換会・・・各地域年1回開催</p> <p>(6) 心身障がい者のつどい 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(7) 共同募金運動 助け合いの精神と福祉への参加を呼びかけ、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動を行いました。</p> <p>①募金運動期間：10月1日から12月31日 ②戸別募金：10月1日から各自治会の協力により、戸別募金実施 1世帯500円 9,541世帯 ③法人募金：法人企業を対象に、職員が訪問し募金運動実施 110社 ④街頭募金：モレラ岐阜にて街頭募金を実施。10月31日実施</p> <p>(8) レクリエーション講座 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(9) 災害救援ボランティア研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(10) ボランティア活動推進事業 高齢者疑似体験セットを購入し、学校等に貸し出しを行いました。 高齢者疑似体験セットを活用し、高齢者の身体機能の低下を体験し、介助の方法やその役割を伝えました。(本巣小学校、根尾小学校)</p> <p>(11) 福祉まつり 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(12) クリスマス会の開催 就労支援センターみつば、杉の子、ほたる利用者同士の交流を目的に、糸貫ぬくもりの里にて、クリスマス会を開催しました。</p>
事業名	4 退職手当給付事業
事業内容及び成果	<p>職員の退職給付金として、3名の退職者に給付しました。</p> <p>①退職給付金引当金・・・退職者への退職金支給 ②事業区分からの収入・・・各事業、サービス区分から一括して退職金積立を行いました。</p>

事業名	5 本巢市在宅福祉事業															
事業内容及び成果	<p>(1) ミニデイサービス事業</p> <p>真正老人福祉センター及び本巢老人福祉センターの入浴施設を市内在住の60歳以上の方を対象に無料で開放し、市民の憩いの場として提供しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一度に4人以上入浴しないよう入浴制限を行いながら実施しました。</p> <p>①真正老人福祉センター：毎週月曜日・木曜日 毎回20名程利用 延べ79日 延べ1,285名利用 1日平均16名</p> <p>②本巢老人福祉センター：毎週火曜日・金曜日 毎回10名程利用 延べ76日 延べ491名利用 1日平均 6名</p> <p>(2) 障害者社会参加促進事業</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。</p> <p>(3) 生活困窮者自立支援事業</p> <p>生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行いました。</p> <p>新たに、家計改善支援事業を受託し、生活費の状況を適切に把握し、家計の改善等支援を行いました。</p> <p>相談件数・・・延べ2,743件（内 家計改善872件） 実質利用人数・・・588名 新規218名（内 家計改善 15名） 継続370名</p> <p>(4) 生活支援体制整備事業</p> <p>訪問型サービス等不足しているサービスの体制整備のため、市内で活動している訪問型サービスの活動内容を確認しました。</p> <p>また、収集した情報を整理し、「本巢市くらしのあったか便利帳」の情報更新をしました。</p> <p>①第2層協議体</p> <p>真正・糸貫・本巢・根尾の4地域において、毎月1回第2層協議体を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月までは中止とし、7月から再開しました。</p> <table border="1" data-bbox="395 1509 1121 1749"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>開催回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真 正</td> <td>8回</td> <td>56名</td> </tr> <tr> <td>糸 貫</td> <td>9回</td> <td>99名</td> </tr> <tr> <td>本 巢</td> <td>9回</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td>根 尾</td> <td>9回</td> <td>69名</td> </tr> </tbody> </table> <p>3月15日には、「地域のくらしの助け合い活動を考える研修会」を開催しました。市内4地域と島根県の地域つながりセンターをリモートで繋ぎ、島根県の「おたがいさま」の実践報告を聞きました。</p> <p>地域の担い手候補の育成として実施している介護予防サポーター養成講座受講生や、その修了生で構成されるサポーターズクラブ員の活動支援を通して顔繋ぎができました。4月から5月には介護予防サポーター養成講座修了者へアンケートを実施し、活動状況や活動に当たってどんな協力者が必要か等調査を行いました。</p>	地 域	開催回数	参加人数	真 正	8回	56名	糸 貫	9回	99名	本 巢	9回	77名	根 尾	9回	69名
地 域	開催回数	参加人数														
真 正	8回	56名														
糸 貫	9回	99名														
本 巢	9回	77名														
根 尾	9回	69名														

(5) 認知症施策推進事業

①認知症初期集中支援

認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、早期診断・早期対応に向けた相談支援を行いました。

住民向けのチラシや認知症ケアパスなどを市内の医療機関に配布し、認知症についての啓発や認知症初期集中チームについての周知活動を行いました。

※地域包括支援センター相談状況

(延べ件数)

相談内容/相談形態	電話	来所	訪問	その他	合計
認知症に対する相談	40	13	17	0	70
内、チーム員相談対応	10	1	8	0	19

②認知症地域支援・ケア向上

※認知症サポーター養成講座

	2019年度	2020年度
開催回数(回)	10回	11回
参加人数(人)	390人	364人

市内小学校及び介護予防サポーター、新任民生委員・児童委員など幅広い世代を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解を深めることができました。

新型コロナウイルスの影響により、講座のキャンセルや延期があり、受講人数が減少しました。

※認知症カフェ

地域	名称	回数	参加延べ人数
真正地域	にこにこカフェ	0回	0名
糸貫地域	わいわいカフェ	4回	93名
	ぐるぐるカフェ	1回	10名
本巣地域	ささゆりカフェ	4回	92名
根尾地域	おきがるカフェ	2回	36名

4ヶ所で開催されている住民主体の認知症カフェについて、運営の相談や支援を行いました。また、認知症の疑いがある人の見守りや相談対応を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数が減少しました。参加者も施設の収容人数等の制限に伴い減少しました。開催時には、感染リスクの高い飲食を中止するなど事業内容の変更、マスクや消毒、検温など感染予防、名簿の作成による緊急時の対応等体制を整え開催できるよう努めました。

事業名	6 介護予防・日常生活支援総合事業
-----	-------------------

事業内容及び成果	<p>市内の概ね65歳以上の高齢者を対象に、要介護状態にならないようにするため、転倒予防教室やキラリ元気アップ教室を開催し、口腔ケア、栄養指導、認知症予防、閉じこもり予防など介護予防に取り組みました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から5月は自粛しましたが、その後は感染対策を徹底し、事業を再開しました。</p> <p>(1) 一般介護予防事業</p> <p>4地域において月2回、健康運動指導士やレクリエーションインストラクターなどの講師による転倒予防教室を開催し、柔軟・下肢筋力・機能訓練・脳トレを取り入れた運動を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加できる地域を限定し、参加人数を減らして開催しました。</p> <p>※転倒予防教室 (延べ人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真 正</td> <td>755</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>糸 貫</td> <td>755</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>本 巢</td> <td>527</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>根 尾</td> <td>155</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,192</td> <td>701</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 介護予防・生活支援サービス事業</p> <p>65歳以上で基本チェックリストに該当した方、または要支援1、2の認定者で介護保険の通所サービスを利用していない方を対象に、4地域でそれぞれ週1回介護予防教室を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を減らして開催しました。</p> <p>※キラリ元気アップ教室 (延べ人数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真 正</td> <td>1,327</td> <td>486</td> </tr> <tr> <td>糸 貫</td> <td>553</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>本 巢</td> <td>508</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>根 尾</td> <td>143</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,531</td> <td>973</td> </tr> </tbody> </table>	地 域	2019年度	2020年度	真 正	755	282	糸 貫	755	194	本 巢	527	166	根 尾	155	59	合 計	2,192	701	地 域	2019年度	2020年度	真 正	1,327	486	糸 貫	553	202	本 巢	508	206	根 尾	143	79	合 計	2,531	973
地 域	2019年度	2020年度																																			
真 正	755	282																																			
糸 貫	755	194																																			
本 巢	527	166																																			
根 尾	155	59																																			
合 計	2,192	701																																			
地 域	2019年度	2020年度																																			
真 正	1,327	486																																			
糸 貫	553	202																																			
本 巢	508	206																																			
根 尾	143	79																																			
合 計	2,531	973																																			

事業名	7 生きがい活動支援通所事業
-----	----------------

事業内容及び成果	<p>根尾デイサービスセンターにおいて、要支援になるおそれのある方や身体に障がいがあって日常生活に支障がある方に対し、入浴や食事、レクリエーションのサービスを提供しました。介護保険利用に切り替えるタイミングを見極め、提案することで利用者は減少しています。</p>										
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">利用者延べ人数</td> <td>2020年度</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>96名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">利用者実人数</td> <td>2020年度</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>3名</td> </tr> </table>	利用者延べ人数	2020年度	39名	2019年度	96名	利用者実人数	2020年度	2名	2019年度	3名
利用者延べ人数	2020年度		39名								
	2019年度	96名									
利用者実人数	2020年度	2名									
	2019年度	3名									

事業名	8 ふれあいホーム事業
事業内容及び成果	<p>障がい者の自立生活を支援するため、ふれあいホーム（賃貸住宅）において、日常生活訓練を実施しました。</p> <p>年間44回実施 延べ83名利用</p> <p>3名の世話人（男性2名、女性1名）と一緒に2人ずつ組になり、1泊2日の宿泊訓練を行いました。</p> <p>利用登録者内訳 男性15名 女性5名</p>

### 【公 的 福 祉 事 業】

事業名	1 介護保険事業																									
事業内容及び成果	<p>(1) 訪問介護事業</p> <p>在宅の要介護者に対してホームヘルパーを派遣し、入浴・排泄・食事などの介護や調理・洗濯・掃除等の生活援助並びに生活等に関する相談と助言、その他要介護者等に必要な日常生活上の支援を行いました。</p> <p>ヘルパーは、介護福祉士、介護職員初任者研修修了者であり、介護のプロです。利用者一人ひとりの持つ能力に着目し「やってあげる」からの脱却を図りました。「やってあげる」ことは簡単ですが、「やれるように手伝う」とは大きくその後の違いが生じます。ヘルパーステーションでは、常にプロとしての支援に取り組みました。</p> <p>また、特定事業所加算を取得している事業所として、常に業務の厳格化を図り、困難なケースに対しても、積極的に受け入れてきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各家庭に訪問するヘルパーが感染源とならないよう細心の注意を払って訪問活動を行いました。また、小中学校が休校になる中、活動できるヘルパー不足により、新規契約が出来ない状況もあり、全体的には利用者数の減少となりました。</p> <table border="1" data-bbox="391 1254 1396 1635"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>介護保険要介護者</th> <th>介護保険要支援者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">利用者延べ人数</td> <td>2020年度</td> <td>294名</td> <td>164名</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>354名</td> <td>185名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">利用延べ回数</td> <td>2020年度</td> <td>2,996回</td> <td>903回</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>3,192回</td> <td>1,070回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">月平均利用者数</td> <td>2020年度</td> <td>25名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>30名</td> <td>15名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 通所介護事業（糸貫デイサービスセンター、根尾デイサービスセンター）</p> <p>在宅の要介護者・要支援者に対し、デイサービスセンターにおいて入浴・排泄・食事などの介護や個別機能訓練、レクリエーションを行いました。</p> <p>糸貫デイサービスセンターは、『利用者の「できる」「できた」「頑張る」を応援する』を目標に、利用者個々の能力や意欲に着目してきました。事業実施に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気や消毒、レクリエーションのあり方や方法を検討しながら、利用者の満足度やサービスの質の低下を招かないよう取り組みました。大きな行事は開催できませんでしたが、利用者家族の協力を得ながら、利用者の若かりし頃の写真を使った回想法を行ったり、本格的なカジノゲームを行い、計算などを各自で行う</p>			介護保険要介護者	介護保険要支援者	利用者延べ人数	2020年度	294名	164名	2019年度	354名	185名	利用延べ回数	2020年度	2,996回	903回	2019年度	3,192回	1,070回	月平均利用者数	2020年度	25名	14名	2019年度	30名	15名
		介護保険要介護者	介護保険要支援者																							
利用者延べ人数	2020年度	294名	164名																							
	2019年度	354名	185名																							
利用延べ回数	2020年度	2,996回	903回																							
	2019年度	3,192回	1,070回																							
月平均利用者数	2020年度	25名	14名																							
	2019年度	30名	15名																							

など、楽しみながら認知症進行防止に取り組みました。

※糸貫デイサービスセンター

利用者延べ人数	2020年度	3,853名
	2019年度	3,365名
利用者実人数	2020年度	342名
	2019年度	302名
月平均利用者 実人数	2020年度	29名
	2019年度	25名

1日平均利用者数は12名で、昨年度より1名増となりました。

根尾デイサービスセンターでは、緑豊かな環境を生かした取り組みを行いました。四季の変化を感じながらのレクリエーションや季節の食事の提供を行いました。

利用者の「できる」「頑張る」を目に見える形で「できた」に変える取り組みとして、「樽見鉄道スタンプラリー」「日本全国温泉の旅」に続き、「御朱印集めの旅」として、全国の神社仏閣を巡るスタンプラリーをすることで、楽しみながら、一人ひとりが目標を持って頑張れるよう支援しました。

この目標設定では、常に利用者のADLの維持や認知機能の維持に着目し、住み慣れた根尾で暮らし続けるために必要なことを考え取り組みました。また、根尾デイサービスセンターは、土砂災害危険区域にあるため、利用者にも常に防災意識を持っていただこうと、昼食に「非常食を自分で作って食べよう」という取り組みも行いました。その他、行事の食事やおやつにも常に利用者が楽しめるように工夫を凝らしました。

※根尾デイサービスセンター

利用者延べ人数	2020年度	2,497名
	2019年度	2,841名
利用者実人数	2020年度	291名
	2019年度	354名
月平均利用者 実人数	2020年度	24名
	2019年度	30名

1日平均利用者数は8名で、昨年度より1名減となりました。

(3) 本巣市居宅介護支援センター

①居宅サービス計画（ケアプラン）の作成

介護保険の要介護認定を受けた方及びその家族の依頼を受けて、介護支援専門員が自宅を訪問し、心身の状況、生活環境等を勘案し、自立した日常生活を営むために必要なサービスが適切に利用できるよう居宅サービス計画の作成を行いました。

②介護予防プランの作成

要支援認定を受けた方に対して、地域包括支援センターからの委託を受け介護予防プランの作成を行いました。

契約者に対しては、家族が就業していることも多く、働く家族からの相談に対応するため、365日24時間体制で在宅生活をサポートしました。

最近では、メールでの相談も多くなり、特に夜間や休日など、家族からの

発信が大半を占めています。まさに 24 時間 365 日いつでも、どこからでも相談できると好評を得ています。

利用者に適切な提案等を行う上で、資質向上は大変重要です。事業所内会議や毎朝行うミーティングにおいて、積極的な意見交換や共通認識の強化に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染拡大により、併設する糸貫デイサービスセンターの業務量の増大を緩和するため、積極的に業務アシストを行いました。

特定事業所加算を取得している事業所として、地域包括支援センターおよび他居宅介護支援事業所や医療機関からの困難事例の受け入れも積極的に行い、常に要介護 3 以上の利用者が 40% を超えています。

契約利用者以外の急な来所や電話相談にも柔軟に対応しました。

相談内容は介護保険のみならず、多岐に渡りますが、職員全員が社会福祉士、介護福祉士、看護師などの資格を有しているため、殆どの相談はワンストップで解決しています。他機関への「つなぎ」が必要な場合でも、相談者が不安に感じることがないように丁寧な対応を心がけました。

	2020年度	2019年度	月平均件数	
			2020年度	2019年度
ケアプラン 延件数	2,059件	2,136件	172件	178件
予防プラン 延件数	153件	91件	13件	8件
相談件数	69件	70件	6件	6件
紹介件数	45件	37件	4件	3件
新規契約件数	71件	59件	6件	5件
24時間対応 件数	563件	524件	47件	44件

事業名 2 地域包括支援センター事業

事業内容及び成果 (1) 介護予防ケアマネジメント事業  
※介護予防ケアマネジメント B の作成件数 (延べ件数)

	2019年度	2020年度
ケアマネジメント B	1,019	662

基本チェックリストに該当した事業対象者に、維持向上を目的に介護予防サービス、支援計画書を作成しました。新型コロナウイルス感染拡大ため、3月から5月まで教室が中止となったため、件数が減少しました。

※出前講座

	開催回数	延参加人数	介護予防	認知症	消費者被害	虐待	感染対策
サロン	4	85	2	2	0	2	2
その他	4	71	0	1	2	0	2
合計	8	156	2	3	2	2	4

一般介護予防教室や出前講座等で地域に出向き、介護予防の啓発活動に努めました。

(2) 総合相談支援事業

介護保険制度や認知症、生活全般に関する相談が多くみられました。本人や家族等からの電話や来所相談が主ですが、それ以外にも病院や居宅介護支援事業所、市役所等からの相談も増加傾向にあります。また、民生委員・児童委員や自治会長などの地域団体からの相談も寄せられ、必要に応じて安否確認を行いました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、認知症状態が悪化しているという相談や出かける場所が無く引きこもり状態になり、身体機能の低下がみられるといった相談も多くありました。また、本人だけでなく、家族への支援が必要な相談も増えています。

出前講座や広報なごみを活用し、総合相談窓口の周知をしました。

※総合相談延件数

(単位：件)

	本人	家族等	関係機関	地域団体等	計
電 話	1 1 3	3 8 4	3 9 2	3 0	9 1 9
来 所	2 7	1 8 1	1 4	2 2	2 4 4
訪 問	1 4 0	1 3 4	1 3	5	2 9 2
その他	1	7	3	0	1 1
合 計	2 8 1	7 0 6	4 2 2	5 7	1,466

※相談内容別件数

(単位：件)

	2019年度	2020年度
介護保険制度に関する相談	1, 3 2 6	1, 3 7 6
総合事業に関する相談	4 7	5 4
福祉制度・サービスに関する相談	9 3	1 0 1
医療・健康等に関する相談	8 4	9 7
認知症に関する相談	1 0 5	7 1
安否確認に関する相談	2 7	2 6
権利擁護に関する相談	4 1	5 0
介護方法等に関する相談	8	1 2
生活全般に関する相談	3 6 8	3 5 4
苦情相談	2	9
その他	1	3
合 計	2, 1 0 2	2, 1 5 3

※対応内容別件数

	2019年度	2020年度
情報提供	1, 3 3 5	1, 4 5 2
連絡・調整	6 7 0	7 1 5
家庭訪問	2 6 0	2 8 4
ケース検討	7	3
申請（代行）	1 0 7	1 4 0
基本チェックリストの実施	1 6	1 9
取次	2 7	0
その他	0	7
合 計	2, 4 2 2	2, 6 2 0

(3) 権利擁護事業

高齢者虐待、消費者被害、成年後見制度の利用など、必要に応じて関係者・関係機関と連携しました。

①高齢者虐待

新型コロナウイルス感染拡大により、自粛生活が続いたためか、5月6月に虐待相談が多くありました。そのため、高齢者虐待防止に関してのチラシを作成し、出前講座や一般介護予防教室にて配布しました。本人や担当ケアマネージャーから暴力に対する相談が増加しました。また、地域住民からの情報提供もあり、見守りや訪問等を行いました。緊急性があるケースに関しては、関係機関と連携を図り、入院や分離等の対応を行いました。

②消費者被害

消費者被害は、広報無線などで近隣の被害情報を提供していることもあり相談件数は減少しました。

新型コロナウイルスに便乗した詐欺に関するチラシを出前講座や一般介護予防教室にて配布をし注意喚起を行いました。

③成年後見制度

金銭・財産管理に関する相談が多く、情報提供及び適切な関係機関に繋ぎました。成年後見制度の申し立て書類の一部である「本人情報シート」の作成を関係者と連携しながら対応しました。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

①地域の介護支援専門員への個別支援

(単位：件)

	2019年度	2020年度
ケアマネに対する日常的な指導助言	73	81
同行訪問	8	3
サービス担当者会議の開催支援	2	0
支援困難事例等への指導・助言	7	23
合計	90	107

地域の介護支援専門員からの相談として、困難事例や高齢者虐待に関する相談が多くみられ、同行訪問や地域ケア会議に結びました。

②市内の介護支援専門員勉強会を年2回開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、グループワーク方式ではなく、ソーシャルディスタンスに配慮した机の配置で行い、消毒、マスク着用等を徹底、開催しました。

第3回目は、緊急事態宣言中であったため、延期としました。

③地域ケア会議に開催について、個別事例検討は市内を南部（真正、糸貫）、北部（本巣、根尾）に分け、6月から12月まで毎月1回定期開催しました。多職種の方に参加していただくことで、様々な視点で検討することができました。また、地域ごとに検討したことで、それぞれの地域及び市内全体の課題を把握することができました。

困難ケースは随時開催し、介護支援専門員が困っている時に、タイムリーな支援をすることができました。また、ケースごとに参加者を替えることで、それぞれのケースでの具体的な対応を検討することができました。

(5) 指定介護予防支援事業

要支援認定認定者に対し、介護予防計画を作成しました。新型コロナウイルスにより、出かける場所が減ったため、介護保険の認定を受けて福祉用具の貸与や通所サービス利用が増えました。

※介護予防サービス計画作成件数

	2019年度	2020年度
予防給付	1,774	1,926
予防マネジメントA	649	615

※予防給付・・・要支援1,2の人でデイケア、訪問看護、福祉用具等利用

※マネジメントA・・・要支援1,2の人で訪問介護、通所介護のみ利用

事業名

3 障がい福祉事業

事業内容及び成果

(1) 障がい者就労継続支援事業（B型）

自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。

※利用者数

	当初利用者数（4月）	年度末利用者数（3月）
みつば	14名	12名（2名退所）
杉の子	8名	8名
ほたる	13名	13名

※利用者1人当たり平均工賃（月額）

	2019年度	2020年度
みつば	12,085円	11,394円
杉の子	13,297円	12,961円
ほたる	11,534円	11,422円

2020年度は、4月以降新型コロナウイルス感染拡大に伴い、新たに布マスクを製作したところ、新聞社等から広まり県庁などから大量の注文を受けることができました。ミシンをかけたり、アイロンをかけたり、様々な仕事を利用者で分担して行いました。また、企業からの請負作業やクッキーなどの自主製品については、新型コロナの影響を受け、受注量が減った者もありましたが、平均工賃を1名当たり毎月1万円以上維持することができました。

(2) 障がい者相談支援事業（障がい福祉サービス等の利用計画作成）

サービス等の利用計画についての相談及び作成などの支援を行い、障がい者の自立した生活を支え、障がい者の抱える課題（食生活や生活習慣のみだれ、精神面の不安定等）の解決や適切なサービス利用に向けて保護者の協力を得ながら支援しました。

①計画相談作成 利用者 33名

②基本相談支援 利用者 3名

(3) 障害者居宅介護給付事業（障がい者ホームヘルプサービス）

障がい者が居宅において日常生活を営むことができるよう、障がい者の家庭にホームヘルパーが訪問し、食事、身体の清潔の保持などの介助や日常生活を営むのに必要な便宜を供与し、障がい者の居宅での生活が続くよう支援

	を行いました。若年層の障がい者や、精神障害者などの利用者が増えてい ます。		
		地域生活支援事業	障害者総合支援事業
利用者延べ人数	2020年度	12人	72人
	2019年度	12人	69人
利用延べ回数	2020年度	50回	369回
	2019年度	52回	303回
月平均利用者数	2020年度	1人	6人
	2019年度	1人	6人

### 【指 定 管 理 事 業】

事業名	1 指定管理業務																																							
事業内容及び成果	<p>(1) 在宅介護支援センター事業（真正、糸貫、本巣、根尾） 在宅で支援を必要とされている高齢者やその家族などに対し、適切なサービスが受けられるよう、連絡調整を行うなどの相談に応じました。 また、市内の概ね75歳以上のひとり暮らしの方を対象として、定期的に見守り訪問しました。 ※在宅介護支援センター活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>真正</th> <th>糸貫</th> <th>本巣</th> <th>根尾</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">見守り 訪問</td> <td>実人数</td> <td>58</td> <td>54</td> <td>49</td> <td>51</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>延人数</td> <td>284</td> <td>258</td> <td>217</td> <td>250</td> <td>1,009</td> </tr> <tr> <td colspan="2">相談件数</td> <td>8</td> <td>79</td> <td>130</td> <td>16</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td colspan="2">実態把握</td> <td>29</td> <td>43</td> <td>39</td> <td>29</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 根尾生活支援ハウス 65歳以上のひとり暮らしの方及び夫婦世帯又は要介護認定において非該当、要支援となった方、又は居住環境及び家庭環境の変化等により、家族による援助を受けることが困難で、独立して生活することに不安のある方に対し、施設内での共同生活を送るとともに、生活援助員による援助を行いました。 年度当初利用者は4名でしたが、体調不良等により2名が退去し、3月末現在で2名の入居となりました。</p> <p>(3) 老人福祉センターの管理運営（真正、本巣老人福祉センター） 老人の健康増進及び文化活動の場として、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、憩いと交流の場を提供しました。 ・広報なごみで一般入浴についてPRを行いました。 ・施設内の清掃に力を入れ、環境整備を行いました。 ・年2回の避難訓練、消防訓練を行い、火災等発生した場合の利用者の誘導方法等確認しました。 4月・5月・2月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、貸出を中止し、会議や教室など開催しないようお願いしました。</p>								真正	糸貫	本巣	根尾	合計	見守り 訪問	実人数	58	54	49	51	212	延人数	284	258	217	250	1,009	相談件数		8	79	130	16	233	実態把握		29	43	39	29	140
		真正	糸貫	本巣	根尾	合計																																		
見守り 訪問	実人数	58	54	49	51	212																																		
	延人数	284	258	217	250	1,009																																		
相談件数		8	79	130	16	233																																		
実態把握		29	43	39	29	140																																		

①真正老人福祉センター 月曜日から土曜日開館（祝日を除く）

- ・施設開館は293日（日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日）
- ・施設利用者数 延べ492名
- ・施設修繕・・・事務室空調機修繕、通路誘導灯修繕、事務室ブラインド修繕、煙感知器修繕等行いました。

また、ミニデイサービス（一般浴場の開放）も、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、一度に4人以上入浴しないよう入浴制限を行いながら実施しました。延べ1,285名利用 昨年度より398名の減となりました。

②本巣老人福祉センター 月曜日から金曜日開館（祝日を除く）

- ・施設開館は220日（土日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日）
- ・施設利用者数 延べ1,560名
- ・施設修繕・・・給排水衛生修繕、玄関ガラス修繕、自動ドア修繕等行いました。また、ミニデイサービス（一般浴場の開放）も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入浴制限を行いながら実施しました。延べ491名利用 昨年度より313名の減となりました。

(4) 糸貫ぬくもりの里の管理運営

市民の健康づくりと高齢者に対する在宅福祉の充実を図るとともに、市民の地域福祉活動及び文化活動を振興し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら会議室やホールの貸出を行いました。

緊急事態宣言の発令に伴い、夜間の利用時間短縮や、利用人数を制限しながら実施しました。

いきいきホールにおいて、転倒予防教室等の健康づくり教室を開催するなど様々な活動に役立てました。

年2回の避難訓練、消防訓練等を行い、火災等発生した場合の利用者の誘導方法等確認しました。

- ・施設開館は266日（いきいきセンターは、月曜日及び年末年始を除く毎日、保健センターは、土日祝日、年末年始を除く毎日）
- ・施設利用者数 延べ10,027名
- ・施設修繕・・・ホール雨樋修繕、会議室給湯器減圧弁取替、ホール開き戸修繕、自動扉センサー修繕、自動ドアタッチスイッチ修繕、感知器、誘導灯修繕、消火栓始動リレー修繕、冷却塔温度調節器修繕、電動式移動観覧席修繕、滑り台支柱修繕、洋便器タンク漏水修繕、熱源凍結防止制御温度調節器修繕、車庫シャッター修繕、雨水排水管修繕等行いました

(5) 根尾高齢者生活福祉センターの管理運営

根尾デイサービスセンター及び根尾生活支援ハウスが円滑に運営できるよう施設設備の管理を行いました。

年2回の避難訓練、消防訓練を行い、火災等発生した場合の利用者の誘導方法等確認しました。

- ・施設修繕・・・畳表張替え、冷温水発生機部品取替え、水栓部分漏水修繕、調理場ラビット管修繕、支援ハウス誘導灯修繕、根尾デイ漏水修繕等行いました。

(6) 障がい者就労支援センター（みつば、杉の子）の管理

障がい者就労支援センターが円滑に運営できるよう施設整備の管理を行いました。

- ・利用者と一緒に、地域の民生委員児童委員、ボランティアの協力を得ながら、屋外の草取りや清掃活動等環境整備に努めました。
- ・年1回の避難訓練を行い、利用者や職員が安全に避難できるよう訓練を行いました。
- ・みつば施設修繕・外灯電気修繕、厨房エアコンドレン修繕
- ・杉の子施設修繕はありませんでした。